

マネジメント学部地域マネジメント学科 入学前教育「国語」

問1 次の漢字の読み方を書きなさい。

① 委譲 (意味)他にゆだねゆずること

② 善処 (意味)物事をうまく処置すること

③ 意匠 (意味)工夫を巡らすこと

④ 凡例 (意味)本の初めにある、その本を読むための参考事項

⑤ 稼働 (意味)かせぎ働くこと。機械を動かすこと。

⑥ 捺印 (意味)はんこを押すこと。

⑦ 迅速 (意味)極めてはやい様子

⑧ 諮問 (意味)政策の決定に先立ち学識経験者などに専門的な見解を尋ねること。

⑨ 自明 (意味)証明するまでもなく、それ自身すでに明白なこと。

⑩ 引責 (意味)責任を取ること。

問2 次の①～⑥の文の下線部を、送り仮名を含めて最も適切な漢字で書きなさい。

① 日曜日の午後、友人をたずねた。

② この薬品のスプレーは筋肉痛をしずめる作用がある。

③ 上着のボタンをとめる。

④ 今朝は早くに目がさめた。

⑤ 転んでひざをすりむいた。

⑥ 思い込みでものを言うのはつつしむべきだ。

問3 それぞれ誤った漢字を書き出し、正しい漢字に直しなさい。

① 致命症

→

② 責任転化

→

③ 質議応答

→

④ 原価償却

→

⑤ 皮層な見方

→

⑥ 既製の事実

→

⑦ 異和感

→

⑧ 配遇者

→

⑨ 下熱剤

→

⑩ 暗誦番号

→

問4 次の①～④の下線部の平仮名に相当する漢字を書きなさい。

① 彼は脚本家をようせいするスクールの講師をしている。

救援隊の派遣をようせいした。

② 約束をほごにするのはよくない。

動物をほごした。

③ 彼は見たところでは年齢ふしょうだ。

本日の司会は、ふしょうながら私が務めます。

④ 店長はしょようで外出した。

空港までのしょよう時間は1時間だそうだ。

問5 次の言葉の意味として適切なものを選びを記号で答えなさい。

- a 「おもむろに」
ア わざと イ えらそうに ウ あわてて エ ゆっくりと オ なにごともないように
- b 「寛容だ」
ア 神経質になる イ 手厳しい ウ 心が広い エ 無関心である オ 興味を示す
- c 「小耳にはさむ」
ア 聞くつもりがなかったことをぐう然に聞く
イ 大切なことを中途半端（ちゅうとはんぱ）に聞く
ウ 興味のあることを聞きのがさないようにする
エ つまらないことでも聞き流さないようにする
- d 「口を切る」
ア まずあいさつする
イ 自己しょうかいする
ウ 最初に発言する
エ 議題を提示する
- e 「ままならない」
ア 軽くみることはできない
イ 問題にならない
ウ 思いどおりにならない
エ 予定どおりにはできない

a		b		c		d		e	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問6 次の①～⑤の下線部の語の類義語を使うのに適当な文をア～オから選び、（ ）にあう類義語を書きなさい。

	【記号】	【類義語】
① 業務効率化のために配送システムを <u>改善</u> すべきだ。		
② 昔は質素 <u>儉約</u> が奨励されたものだ。		
③ トップ企業が市場の <u>寡占</u> 化を進めている。		
④ 領土の <u>返還</u> 問題について外交交渉が行われている。		
⑤ <u>突然</u> の来客にて慌てて部屋を片付けた。		

- ア 図書館で借りた本は期限までに（ ）しなければならない。
- イ 農作物を育てるために土壌を（ ）する。
- ウ 幼なじみに（ ）に呼び止められたので驚いた。
- エ エアコンの使用を控えて電気代を（ ）する。
- オ 特定の企業が市場を（ ）するのはよくない。

問7 次の①～⑨の対義語をア～コから選びなさい。

- ① 暗愚 ⇔ ② 遺失 ⇔ ③ 依存 ⇔
- ④ 違反 ⇔ ⑤ 横柄 ⇔ ⑥ 自然 ⇔
- ⑦ 独立 ⇔ ⑧ 過疎 ⇔ ⑨ 干涉 ⇔

ア 自立	イ 過密	ウ 質素	エ 従属	オ 拾得
カ 謙虚	キ 人工	ク 賢明	ケ 放任	コ 遵守

問8 次の①～⑩の四字熟語の読みを答えなさい。

- ① 悪口雑言 ② 一蓮托生
- ③ 才色兼備 ④ 粉骨碎身
- ⑤ 満身創痍 ⑥ 疲労困憊
- ⑦ 上意下達 ⑧ 順風満帆
- ⑨ 純真無垢 ⑩ 五穀豊穰

問9 次の①～⑩の四字熟語の意味を下から選び、ア～記号出答えなさい。

- ① 枝葉末節 ② 臥薪嘗胆 ③ 朝三暮四 ④ 二律背反 ⑤ 換骨奪胎
- ⑥ 薄利多売 ⑦ 六根清浄 ⑧ 滅私奉公 ⑨ 夫唱婦随 ⑩ 虎視眈眈

ア	利益の割合を少なくして品物を多く売り、全体としての利益を多くすること。
イ	目先の違いに気を取られ、結局は同じことであることに気づかないこと。
ウ	欲や迷いを断ち切って、心身が清らかになること。
エ	私心をなくして、国のため公のために尽くすこと。
オ	静かにじっと機会をねらうこと。
カ	主要でない部分や細かい部分。
キ	苦心・苦労を重ねること。
ク	夫が言い出して、妻がそれに従うこと。
ケ	一方を求めればもう一方は成り立たない状態のこと。
コ	すでにあるものに少し手を加えて、新しいものを生み出すこと。

①		②		③		④		⑤	
⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	

問10 次の①～⑫の語について、空欄に「尊敬語」と「謙譲語」を書きなさい。

	尊敬語	謙譲語
① 言う		
② 行く		
③ 来る		
④ 聞く		
⑤ 見る		
⑥ 食べる		
⑦ 買う		
⑧ もらう		
⑨ 与える		
⑩ いる		
⑪ する		
⑫ 帰る		

問11 次の各文の下線部は「言葉の乱れ」にあたると考えられます。正しい表現に書き直しなさい。

ア ちこくした理由は、特にないです。

イ なにげに窓の外を見やると…

ウ いっしょにやろうよ、みたいな話だった。

エ わたしのお母様が、明日学校に来ると言っております。

問12 次の①～⑧の（ ）に入れるのに適当な接続後を、ア～クから選びなさい。また、接続語ア～クのはたらきの説明として適当なものをA～Hからえらびなさい。

- ① 今朝、私は寝坊をして電車に乗り遅れた。（ ）、友人に車で送ってもらった。
- ② 煎餅が食べたい。（ ）、歯が痛いので食べられない。
- ③ 新聞記者（ ）テレビの報道記者は、その事故現場の取材が許された。
- ④ 彼女はよく働く。（ ）明るいので、アルバイト先でも評判がいい。
- ⑤ 車の渋滞がひどい。（ ）歩いている人間のほうが速いくらいだ。
- ⑥ 日本は海に囲まれている。（ ）島国である。
- ⑦ 自由参加の会とする。（ ）、参加費は無料である。
- ⑧ クジラは1頭2頭と数える。（ ）哺乳類だからだ。

ア	すなわち・要するに・つまり	イ	むしろ・かえって
ウ	だから・したがって・そこで	エ	ならびに・および・また
オ	しかし・だが・けれども	カ	そのうえ・しかも・さらに
キ	なぜなら・というのは	ク	なお

A	並列＝前と後ろの文が対等な関係であることを示す。
B	順接＝後ろの文が前の文と順当につながることを示す。
C	添加＝後ろにつながる文が前の文の付け加えであることを示す。
D	逆説＝後ろの文が前の文に反することを示す。
E	言い換え＝後ろの文が前の文の言い換えや要約であることを示す。
F	対比＝前と後ろの文が対比の関係にあることを示す。
G	補足＝後ろの文が前に書いてあることを補うことを示す。
H	説明＝前に書かれたことの根拠を示す。

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

ア	イ	ウ	エ
オ	カ	キ	ク

問13 次のA、Bに入る適当な語を書きなさい。

「だ」や「である」で終わる文体を（ A ）という。「です」「ます」で終わる文体は（ B ）という。レポートや論文は通常、（ A ）で書く。（ B ）は、手紙や説明文でよく使われる。文体は統一することが基本だ。文章を書く際は、（ A ）と（ B ）が混同しないようにする。

A		B	
---	--	---	--

問14 次の文を、レポートの文として適切な文に書き直しなさい（不要な文を削除してもよい）。

日本の新聞の販売部数を朝刊について調べてみたのですが、読売が971万部、朝日756万部、毎日337万部で、これは世界でも1位、2位、4位になるようです。日本全国に向けて出されている新聞は、世界でもかなりすごいと言えるでしょう。なお、この数字は2013年上半期の実績としてあった数字です。

問15 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

入りたての新人は、何をやってもちょっとずつ違うものだ。いわば異分子である。非常にこまかい例になるが、コピーをとり終わったあと、ふたを開けておくか閉めておくかというように些細なことにいちいち違和感が起こるのだ。

たとえ悪気なくやっていることであっても、それによってほかのスタッフの調子が狂うような場合はやはり改めてもらねばならない。が、そんなとき次の言葉は禁物だ。

「こんなことは常識だろう」

常識は人によっても、場所によっても異なる。常識という言葉にこだわるのなら、ローカルな常識を振りかざすのではなく、理に適った「わが社の常識」を理論的にしつけなければいけない。常識という言葉には、あなたとワタシのあいだでこんなに溝がありますよとでも言うような、冷たい拒絶の響きがある。

経営者は些事には口を出さぬほうがよいとはいえ、職場内で「常識でしょ」が聞こえたときだけは毅然として制止してほしい。排他がはびこる職場では、決して後進は育たないからである。

（香川恵著・HRS総合研究所監修『新入社員の「しつけ」と「研修」』すばる舎、2004年より）

(1) この文章は、①誰に向けて、②どういう人の言動について書かれたものか書きなさい。

① この文章は、誰に向けて書かれたものか。

② どういう人の言動について書かれたものか。

(2) この文章の論旨と異なるものをA～Eから1つ選びなさい。

- A 新入社員がやるこまかなことで、職場に違和感が生じることが多い。
- B 悪気ない行為であっても、ほかのスタッフの調子を乱すようなら改めさせるべきだ。
- C 新入社員には、しっかりと社会の常識を教え込まなければならない。
- D 「常識」を口にすると、相手に自分との距離を感じさせがちである。
- E 「常識」を盾に人を寄せ付けけないような職場では、後輩は育たなくなる。

名前

問16 次の文章は、東京スカイツリーの開業を報じた新聞記事である。1文ごとに番号を振った①～⑤のうち、「事実*」ではない文の番号を書きなさい。(複数可)

※ここでは「事実」とは、客観的な裏付けのできる内容を指すものとする。

①2012年5月22日(火)、タワー世界一の高さ634メートルを誇る東京スカイツリー(東京都・墨田区)が開業した。②着工から3年10か月、述べ58万人が建設工事に携わった。③東日本大震災に耐え、優雅に空へと伸びるその姿に、いつしか被災者を含めて多くの国民が明日への希望を託す存在となった。④高度経済成長と共に歩んだ東京タワーに代わり、電波塔として重要な役割を担う。⑤さらに都心の間近に国内最大級の集客施設が誕生することで、海外の観光客も呼び込み、首都の人の流れを大きく変えそうだ。

問17 次の(1)(2)の文は、A「何について述べているか」、B「書き手の意図」はどういうものだととらえられるか、それぞれ適当なものを①～③から選びなさい。

(1) 最近の人は、自己表現や自己主張が強くなったのはいいが、ほかの人が話をしているときも遮って自分の意見を声高に語りがちである。私は、ほかの人が話しているあいだは黙って聞くのが礼儀だと思っているのだが、そういうことでは時代について行けなくなるのだろうか。

- 【A】 ① 自己主張に控えめな人は時代に取り残される状況について
② 人を押しのけても自分が前に出ようとする風潮について
③ 人の話を聞くときの態度について

- 【B】 ① 自己表現するのはよいが、ほかの人の存在も尊重すべきだ。
② 人より前に出て行く姿勢がなければ生き残れない時代だ。
③ 最近は礼儀を知らない人がいるから礼儀教育が必要だ。

A		B	
---	--	---	--

(2) チェーン店が全国に店舗網を広げるようになったおかげで、消費者にとっての地域間格差が是正された面はたしかにある。どこに住んでいようと、同程度の品質の商品と同程度の値段で手に入れられるのだから、ありがたい。しかし、地域それぞれにあった特色は希薄になった。北から南までどこに行っても同じような店が並ぶ様子は、地域の個性や伝統が失われた寂しい景色として私には映る。

- 【A】 ① チェーン店の発展が消費者にもたらした利便性
② チェーン店の発展が地域の個性や伝統を融合させたことについて
③ チェーン店の発展が地域の個性を失わせたことについて

- 【B】 ① チェーン店の効用は認めるものの地域が失ったマイナスのほうが多い
② どこに暮らしても利便性が得られるようにしたチェーン店の貢献は大きい
③ 地域の個性や伝統を復活させなければならない

A		B	
---	--	---	--

問18 下記は、病院が入院の際に必要なものを連絡するために、配付している用紙です。これを用いて、入院予定者に対する「入院時の持ち物」を、わかりやすく説明しなさい。

入院時の持ちもの

1 入院当日受付で必要なもの

・入院申込書 ・診察券 ・健康保険証 ・印鑑

2 日用品

・箸 ・スプーン ・湯飲み ・ポットまたは水筒 ・歯ブラシ
・歯磨き粉 ・シャンプー ・石けん ・洗面器 ・下着
・くし ・タオル ・バスタオル ・ティッシュペーパー
・パジャマ ・スリッパ ・ひげ剃り（必要な方のみ）

3 その他

服用中のお薬や医師・看護師が指示したもの

- ★ 荷物は最小限にしてください。
- ★ 持ちものには、必ず名前を記入してください。
- ★ アレルギー発症を防止するため、生花の持ち込みは禁止とします。
- ★ 日用品は病院内のコンビニエンスストアでも販売しています。
- ★ 盗難防止のため、多額の現金や貴重品はお持ちにならないようにしてください。

【解答欄】

問19 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

からだはだれのものか。いのちはだれのものか。

安楽死の問題をめぐって、臓器移植をめぐって、人工中絶や出生前診断の是非をめぐって、このことがいつも問題になる。

そのとき、その問いはいつも個人の自由の問題とからめて論じられる。個人が自由であるとは、個人がその存在、その行動のあり方をみずからの意志で決定できる状態にあるということである。わたしの身体もわたしの生命もほかならぬこのわたしのものであって、この身体を本人の同意なしに他から傷つけられたり、その活動を強制されたりすることがあってはならないというのは、「基本的人権」という理念の核にある考え方であるといつてよい。

自殺の正当化にあたっては、献体の登録や臓器の提供にあたっては、その背景にあるのは同じ論理である。生きて死ぬのはほかならぬこのじぶんであるから死に方は本人が決めることができる、じぶんの身体はじぶんのものだからそれをどう処分しよう（美容整形しよう、身をひさごうと、体内の臓器を他人に譲渡しよう）他人にとやかく言われるすじあいはない……というわけである。

が、他方で、その同じ身体、同じ生命がけっしてじぶんだけのものでないことを、わたしたちは日々痛いほど感じている。ひとはじぶんの生命をじぶんで創りだしたわけではないし、じぶんの生命をじぶんで閉じることもできない。だれもじぶんでへその緒を切ることはできないし、じぶんで棺桶のなかに入ることもできないとは、しばしば言われることだ。だれしも他人の庇護のもとで育つ。他人にあれやこれやと世話されながら老いる。

身体や生命を、さらに広く「身」とか「身柄」というふうにとれば、家族生活をいとなむひと、いろいろな団体の運営責任を負う公的な立場にいるひとにとっては、じぶんの身体をじぶんだけのものだと感じるもののほうがむしろ稀だろう。

このずれはいったい何を意味しているのか。

ここで問題になるのは、冒頭に掲げたような、身体はだれのものか、生命はだれのものかという問いである。本人のものか、あるいは本人だけのものではないのか、それがいつも問われるが、しかしその背後にはさらに、身体や生命はそもそもだれかの所有される物なのだろうかという問題がある。

西洋の所有論は伝統的に、何かがじぶんのものであるという所有権の概念を、ものの可処分性（ディスポーザビリティ、つまり自分の意のままにいうこと）という概念に結びつけて考えてきた。これはわたしのものである、だからこれをどう処分するかはわたしが自由に決めることである、というわけだ。

が、この考え方の根にある考え、つまり、この身体はそれを生きているこのじぶんのものだという身体の自己所有権（セルフ・オーナーシップ）の考えには、ある保留がつけられねばならない。それは、身体がもしもろもろの物的対象のひとつだとするならばたしかにその所有権が云々できるだろうが、身体そのものはたして所有されるべき物的対象なのだろうか、という問題である。

生命についても同様のことがいえる。かつて生物学において、生命活動、とくに呼吸が燃焼の比喩で語りだされたように、生命というと、なにか生きものの内部にあって実体のように存在するものが考えられがちである。まるで生命の炎とでもいうべきものがあって、それがいつかふつと消えるかのように、だ。しかし生命は他人と共同で維持されるものであって、他人との関係から離れて生命というものはなりたたない。食べ物ひとつ調達するのも、社会の大きな機構がはたらかなくなったら至難のことである。

生命を誰か特定個人の身体のうちに局所づけることはある意味で抽象的なことである。というのも、身体が純粋に物的な対象として現れるのは、それが他の身体との生きた関係を解除されたときだからである。ひとの身体と生命は、食や性、育児や介護の場面ひとつとってもわかるように、いつも他の身体とのまじわりややりとりのなかにあるのであって、特定の身体の座をもつ生命の行く末は、その生命を生きる者、その生命に与かるひとびとのものであるのだ。個人のその身体が死体となったとき、その生命とともに生きた者がその生命を亡きものとして認める、そういう行為をもってやっとひとつの命は終わるのだ。

いのちのもっとも基礎的な場面で、ひとはたがいのいのちを深く交えている。この交感がいのちのなかを流れている。

からだはだれのものか、いのちはだれのものか。これは、ひとがだれと生きてきたか、だれとともに生きつつあるかという問いとともに問われねばならない問題なのである。

出典：鷲田清一『死なないでいる理由』

ア 自己の権限 ―その及ぶ範囲
イ 生命の重みとは
ウ いのちとからだ ―一人の尊厳を考える
エ いのちとはだれのものか ―生命操作をめぐる
オ 基本的人権と自己所有権の関係

[illegible]

200

[illegible]

200

A 10x20 grid is shown. A vertical line is drawn in the 10th column, 7th row from the bottom. The grid is labeled with '300' on the right side and '400' at the bottom right corner.

問20 次の文章を読んで、(1) ～ (3) に答えなさい。

ビジョン、何とも響きのよい言葉だ。日本の政治家はビジョンを示せないから国民は不安になり消費が伸び悩んでいる、という風に使われる。たとえばカルロス・ゴーンが示す日産のビジョンは、この先三年で利益を出す、というものだ。たとえば政治家のビジョンというものは、いったいどういうものだろうか。

日本が近代工業国家になる前、政治家や官僚は、日本をどういう国にしていくか、国民はどう生きるべきかというビジョンを語ることが必要だった。

現代はどうだろうか。政治家や官僚は将来の日本のビジョンをどういう形で示すべきなのだろうか。わたしは、政治家や官僚には、日本人はどう生きるべきか、というようなビジョンではなく、より具体的な短期のビジョンと中長期のビジョンを示してもらいたい。それは短期的には、たとえば財政危機を回復するために具体的にどういった政策をとるのかといったようなことだ。あるいは中長期的には日本の教育や治安や安全保障を考えるとときに具体的にこれからどういう対策をとるのかというようなことだ。

現代においては、日本人はこれからどう生きるべきか、というようなビジョンを語れる人はいない。昔のように、つまり高度成長以前のように、日本人全員がある一つの生き方、ライフスタイルを目指しているわけではないからだ。

そして、日本人一人一人が、自分はどう生きるかを考えることが必要だとしたら、政治家や官僚は、さまざまな社会的セーフティネットを整備し、生き方の選択肢を示して、あとは放っておくべきだと思う。

(村上龍『「失われた10年」を問う』日本放送出版協会、2000年5月刊より抜粋)

- (1) この文章の段落ごとの要旨として不適切なものを、A～Eから選びなさい。

- A ビジョンという言葉は響きのいい言葉だ。
B 日本が近代工業国家になる前は、政治家や官僚は国のあり方や国民の生き方についてビジョンを語ることが必要だった。
C 現代の日本では、政治家や官僚には、日本人はどう生きるべきかというようなビジョンではなく、もっと具体的な短期と中長期のビジョンを示してもらいたい。
D 現代の日本人は、一つの生き方やライフスタイルを目指しているわけではない。
E 社会的セーフティネットを整備し、生き方の選択肢を示すことが政治家や官僚がすべきことで、どう生きるかの選択は国民に委ねるべきだと思う。

- (2) この文章の要約文を、100字以内で書きなさい。

[illegible]

- (3) この文章に対する批評文（あなたの意見を論理的に示した文）を 120 字以内で書きなさい。

[illegible]